

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2020年度 パフォーマンス向上会議情報(2020年10月27日(火)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2020年10月27日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	【当社ホームページに掲載している「福島第一原子力発電所における高濃度の放射性物質を含むたまり水の貯蔵及び処理の状況について」の数値一部記載誤りについて】 当社ホームページに掲載している「福島第一原子力発電所における高濃度の放射性物質を含むたまり水の貯蔵及び処理の状況について」(10月19日分)において、使用済ベッセルを1本多く記載していたことを本社担当者にて確認。 今後、原因調査および再発防止策を検討予定。	G II	10月23日
2	【多核種除去設備処理水貯槽35A(G6-A9)水位計の指示不良について】 当直員が、多核種除去設備の「貯槽タンク35A(G6-A9)RL上限逸脱」の警報発生を確認。 現場確認の結果、貯槽タンクG6-A9とG6-A8を連結させてもタンク内の水位に変動がないこと、保守ツールを用いて計器を確認したところ、故障を知らせるエラーコードが表示されたことより、計器不良と判断。 今後、計器交換予定。 貯槽水位は連絡弁を開にした時の水位により、代替監視可能なため系統への影響はない。	G III	10月21日
3	【5号機使用済燃料プール冷却浄化系ポンプ(A)(B)の冷却水配管の表面錆について】 当直員が、5号機使用済燃料プール冷却浄化系ポンプ(A)(B)の冷却水配管表面が全体的に錆ていることを確認。 原因は、配管表面に付着した結露によるものと推定。 錆による機能上の問題はなし。	G III	10月22日
4	【6号機原子炉建屋補器冷却系熱交換器(A)海水出口弁グランド部からの海水の飛散について】 当直員が、6号機原子炉建屋補器冷却系熱交換器(A)海水出口弁を全開から閉操作した時、開度20%付近においてグランド部より指2本程度の海水が飛散したことを確認。 当該弁全閉後、グランド部からの飛散停止を確認。 当該弁全閉でグランド部の飛散は停止したこと、および弁操作は可能であることから弁機能に問題なし。 今後、点検予定。	G III	10月22日
5	【雑固体廃棄物焼却設備の軽油供給ポンプ(B)吐出圧力計指示不良について】 当直員が、雑固体廃棄物焼却設備の軽油供給ポンプ(B)運転中の吐出圧力計指示値が系統圧力と比較して高く、振れ幅も大きいことを確認。 系統圧は正常値を示しており、制御室で監視している軽油の流量にも変化がないことより、計器故障と推定。 現在、軽油供給は系統圧力と流量計で確認出来ている為、運転に支障はない。 今後、吐出圧力計を点検予定。	G III	10月22日
6	【保安教育実施報告書の提出漏れについて】 2020年3月1日付で採用となった社員1名が所属するグループで、2020年度の「保安教育」を実施するにあたり、2019年度の実施記録を確認したところ、当該社員の保安教育は実施されていたが、保安教育実施報告書が人材育成管理個所に未提出となっていたことを確認。 今後、再発防止策を検討。 未提出1名の保安教育実施報告書を人材育成管理個所に提出済み。	G III	10月22日